



三高 57 回生が納得のいく進路選択をするための生徒向け進路通信

黎と明の緑丘ライフ

Vol. 13



いつも本校の教育活動にご理解とご協力いただき、感謝申し上げます。おはようございます。盛岡第三高校2年生の明です。文系日本史選択です。久しぶりの進路通信発行となりますが、よろしくお願いいたします。



確かにずいぶんごぶさだったよね……って、ア、アキラちゃん！？
また雰囲気変わってない？……って、わ、わたしもだ！？
どういふこと？ 何が起こったの！？ こ、こんな時どんな顔していいかわからないよう。



とりあえず笑えばいいと思うわよ。
実はね、私たちのお友だちが、今度は「私たち3号」を作ってくれたの！ また副学年長の無茶ぶりに応えてくれたのよ。感謝感激です。



このペースで行くと、毎号わたしたちイメチェンしちゃうかもね。
ステキなわたしたちを描いてくれて、どうもありがとうございます！
それでは、13回目となる、進路通信のスタートです



13回目の進路通信では、
①2学年、今だから気をつけておきたいこと ②三者面談および進研模試についての2本立てです。それでは、今回もよろしくお願いいたします。

① 2 年生、今だから気をつけておきたいこと



ふああ……(・ω・) 眠いよう…。あーあ、高総体はなくなるし、体育大会も延期だし、
なんだか毎日の張り合いがないなあ。
とりあえず、今日も「あつ森」で遊ぼうっと。今日のカブ価チェックしないとなあ。



こらこられーちゃん。いくら休校があったからってちょっと緩みすぎじゃない？
たしかに今年は、考えもつかないことが起こったけど、それでも容赦なく現実には動いていくの
……とはいへ、私も少しマンネリ気味なのよね。今の状況に慣れちゃったというか…。



なんだ、やっぱりアキラちゃんもかあ。よかったあ。
じゃあ、アキラちゃんもいっしょに「あつまれどうぶつの森」やろうよ！



いや、「やろうよ！」じゃないでしょ！
よくないよくない、全然よくない！ なんとかしてこの中だるみを脱出するわよ！



脱出するって……どうやって？



こうやってよ。

きみは、アキラタイプ？ れーちゃんタイプ？ タイプ別中だるみ診断

れーちゃん (黎) タイプ



- 楽観的。座右の銘は「なんとかなる」
周りの環境でモチベーションが左右
されやすい。
- 「周りもこうだからいいや」と危機感が
なかなか持てない。結局今夜もゲーム機の
電源を入れる。
- 進級して緊張感が抜けてしまい、少し
やる気を喪失気味。

アキラ (明) タイプ



- 基本的にまじめ。コツコツ勉強するのが
好き。毎日三高手帳もしっかり記入し、
計画的に学習しようとしている。
- 毎日コツコツ勉強に励んでいるものの、
最近感じている「これじゃない」感。
作業的な学習にマンネリ気味。
- 真面目に頑張っているつもりだったが、
知らず知らずのうちに中だるみに…。



おっおっ、確かに今のわたし、そんな感じかも！
2年生に進級して、先輩になったことで緊張感が薄れてきたし、新型肺炎の影響を言い訳に
して、いろいろ甘えちゃってたこともあるかもなあ。



私も、真面目にやっているつもりだったけど、本当に「つもり」だったわね。自分の弱点分野
苦手教科の克服をせず、現状維持の勉強で満足してしまっていたわ。
……これも、間違いなく「中だるみ」よね。



というわけで、次のページからは、私たち二人のタイプ別に脱・中だるみの方法を紹介します。
みなさんはどちらの「タイプですか？
わたしたちと一緒に克服していきましょう！

脱・中だるみその1 身近な目標を立てよう → モチベーションのUP!

れーちゃん (黎) タイプ向け



①ライバルを設定しよう!

- 周りの友人で「あいつに勝ちたい!」という人を作ろう
- 「ライバルから何を学びとれるか」を意識して勉強しよう

②目標を宣言しよう!

- ライバルや家族に、具体的な目標を宣言しよう
- 1ヶ月ぐらいの短期的な目標を決め毎日ことばに出そう。手帳に書くのもGOOD。

アキラ (明) タイプ向け



①具体的な予定を立ててみよう!

- 「夏休みまでにやること」を具体的に決めよう。
- 詰め込みすぎに注意して、1日ごとのタスクを決め、予定表を作ろう。

②目標を「見える化」しよう

- 具体的な目標を書いて、目につく場所に掲示しよう。
- 「やること」の目標と「結果」目標を区別し、「やること」の目標は、毎日進捗状況を書いて成果を示そう。

脱・中だるみその3 変化を取り入れよう → マンネリな現状を打破する!

れーちゃん (黎) タイプ向け



①大学について「もう一度」調べよう!

- 行きたい大学や学部を調べ、大学に通う自分のイメージを膨らませよう。
- 志望校の過去問(赤本)を手にとろう。勉強のやる気につながります。

②志望分野の書籍を読んでみよう!

- 朝読書の時間を利用して、興味のある分野の読書に取り組もう。
- 図書館や本屋めぐりをして、気になる書名があったら、片っ端から手にとり読んでみるのもいいかも。

アキラ (明) タイプ向け



①勉強の内容を見直そう!

- 基礎詰めめのインプット、問題演習のアウトプットの学習バランスをとり偏りが無い勉強をしよう。
- 「教科書→問題演習→見直し」と、インプットとアウトプットを交互に繰り返そう。

②勉強量が少ない教科・科目に取り組もう

- ふだん勉強が足りていない分野にあえて取り組む時間を作ろう。
- 得意科目の苦手分野を克服しよう!

脱・中だるみその2 毎日のルールを決めよう → 学習習慣を身につける!

れーちゃん (黎) タイプ向け



①集中できる「勉強場所」を見つけよう!

- 場所を変えながら勉強して、自分が一番集中できる場所を探そう。
- 平日はここ、休日はここ、のように時間や曜日で場所を決めるのもOK

②朝型の生活に切り替えよう!

- 一度思い切って早く寝て、朝型の生活リズムを作ろう。
- 朝起きたら、することを決めよう。早目に登校して、誰もいない朝の教室は、集中して勉強できます。

アキラ (明) タイプ向け



①「学習時間」を徹底的に管理しよう!

- 部活動や習い事の予定をふまえ、曜日ごとに1日の学習時間を決めよう。
- 毎日の学習時間と学習内容を記録し、達成度が目に見えるようにしましょう。

②ふだんの勉強に+αの工夫をしよう

- ノートに復習用のスペースを設け、できていないことを書きだそう。
- 問題演習では、正答のみではなく、どんなミスだったのかを記録し、正しい考え方を身につけよう。



わたしの場合、モチベーションや学習習慣を定着しなおすことが最優先だね。とどのつまり結局は、自分の「やる気」がスタートラインなんだよね。モチベーションを上げて、勉強量も増やして、早く勉強の質にもこだわりたいなあ。



学習のあり方については、先日の東大講座で、講師の先生がこんなことおっしゃっていたわよ。実は、このお話、先日の教育実習生の先生方から聞いたお話とだいたい似ているの。何度も言われていることよね。そろそろ自覚して勉強しなければいけないわ。

合格に向けて、今、心がけてほしいこと① ~2学年東大講座・数学から抜粋~

予備校にいけば何とかなるってよく言われるけど、すぐに成績が上がる魔法をかけてあげることができない。そんな魔法はない。まずは正しい学習を行うことが大事だ。
「正しい学習」とは、まず「教科書どおりに」問題を解くこと。ふだんの授業の学習姿勢を見直そう。
 基礎的なことを何度も復習して力をつけていこう。さらに、定理や定義をただ丸暗記するのではなく、なぜそう考えるのかなぜそう解くのか、原理原則から理解できるようにしよう。納得するまで考えることが大事。ただの公式の丸暗記は、全く力がつかない。なぜなら計算力や解き方のセンスは、反復なくして身につかないからだ。

学力向上はスポーツと同じ。できないのなら、基礎基本の反復を時間をかけて何度も行おう。



なるほどね。私の場合、学習の質を上げる工夫をしていけばいいわけね。そのためには、学習時間の管理を徹底したり、「今できていないこと」を明確にすることが必要なのか。……これなら、「ただ勉強してるだけ」っていう、マンネリを打破できるかも!



そうだね……。やっぱり学習時間を増やすこと、基礎基本を反復することが大事かあ。もう何度も何度も同じこと言われているよね。東大講座の先生ですら、基礎と基本って



言っている以上、ホントにそろそろ気づかないといけないよね。
 とはいえアキラちゃん、わかってはいるんだけど、やっぱりやる気にならないときってあるよね。そして結局YouTubeを開いてしまうわたし。
 ダメだとはわかっているんだけど……。



結局これも、自分が本当に「この大学に行きたいか」って真剣に求めているかどうかよね。ゲームはしたい、ショッピングはしたい、YouTubeは見たい、だから勉強はしたくない、でも、大学には合格したい……それじゃあ、道理が通らないのは、れーちゃんだっでご存じでしょ？



い、言い返せない……ぐうの音も出ないよ(・ω・)
 たしかに、本気で目指しているなら、スマホだってガマンできるはずだしなあ。
何かを実現したいなら、何かをガマンしなければいけないってことだよ。



そうそう。「真に欲せよ、さらば与えられん」よ。
 だからね、そのために今、全国有数の進学校で実施していることが、「志望理由書の記入」よ。
 3年前に行われた、2年生向けの小論文講座ではこんなお話があったわ。

合格に向けて、今、心がけてほしいこと② ～第54回生 小論文講座より～

なぜ、大学の志望理由書を書くのか。AO入試などで提出する志望理由書は、早ければ1年次の時から準備しておくことが必要となる。ただ、一般入試の生徒たちでも2年生ごろから志望理由書の作成に取り組む学校が多い。

志望理由書を書くときは、自分が目指す大学を具体的に調べなければならない。その作業の過程で今まで漠然としていた将来の進路が具体化されていく。大学で何を学びたいのか、その学びを通して社会でどんな仕事をしたいのかを確認することになる。

つまり、「自分の(今の成績で)行ける大学」「あまり苦勞せず行ける大学」という観点では、決して身につかない、社会へ貢献するという大きな目的を見つけることができるようになる。

将来に向けての大きな目標が明確になれば、どんな困難があってもそれに立ち向かい、集中して勉強できるようになるはずだ。



うーん……、志望理由ひとつでそんなにモチベーション上がるもんかなあ?(・ω・)



上がるわよ。上がるわ。
 現に、D判定やE判定で合格した先輩たちは、「何としても●●になるんだ!」という強い信念を持っていたわ。だから、志望理由書が合格を左右すると言っても過言ではないのよ。



も、もしかして…学年長の円井先生が、「三者面談で第一志望のプレゼンをやるぞ」ってわたしたちに言ったのは……!?



そうよ、私たちに強い志望理由を持ってほしいからよ。
 自分の利害だけじゃなくて社会に貢献するという大きな目標を持ってほしいからよ。

だから、まずは志望理由書の前段階として、三者面談ではプレゼンを行うことにしたの。

② 三者面談および進研模試について



ということで、三者面談につながったね。
 通知票も渡されるし、プレゼンもうまくできるかどうかどきどきだよ。



そうね、お家の人に安心してもらえるようにしっかり準備しておかないとね。
 私たち、自分の夢を一生懸命発表しますので、私たちの希望する進路を応援していただけると、これからの励みになります! どうか温かなまなざしで聴いてください!



三者面談ですが、
 ①わたしたち生徒からの第一志望大学プレゼン、
 ②それに対する情報交換、そして……



そして、
 ③通知票と進路シートの提示およびそれに伴うこれからの学習アドバイス
 ④わたしたちはいったん中座して、お家の方と先生とお話、という流れとなります。



お忙しい中、ご来校いただき本当にありがとうございます。
 お子さまたちの進路実現に向け、よりよい時間になりたいと先生方は準備してきたようです。
 面談当日は、どうぞよろしくお願いいたします。



面談2日目には、2年生初となる進研模試もございます。
 今回の模試からは、「できなかった問題」について、「どのようなミスをしたか」という見直し中心とした自己採点に変えてみました。



単なる「正解・不正解」の「結果」のみに目を向けるのではなく、「考え方があっているか」「なぜそう考えるのか」という「過程」を意識した模試の見直しに取り組んでいきます。
 来たる共通テストに向けて、初見の問題に対応できる思考力を育成することが目的です!



共通テストに関しては、昨今の情勢から未だ不透明な部分もございますが、情報が確定しだい随時ご家庭にお知らせしていきたいと思っております。



本日の進路通信は以上になります。長くなりました。
 今回も、お読みいただきありがとうございます。
 過去の進路通信も、ぜひ右下のQRコードからお読みいただけるとうれしいです。



これからもお子さま、ご家庭、そして学校の三位一体で、お子さまたちの進路実現に向けて歩んでいければと考えております。
 三者面談、本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

学年通信バックナンバーです→



得ません。従って、模範的生活を送った者の中で高い学科適性を有する者が「結果的に」通る道だということになります。

推薦入試・総合選抜型入試について 進路指導課

本年度より入試形態の名称が変わります。用語について内容を整理し、説明いたします。

1 一般選抜

従来「一般入試」と呼ばれていた、学力試験で選抜する入試です。盛岡三高は、この一般選抜を中心にして進路指導をすることで大学からの信頼を得ています。

2 総合型選抜

従来「AO 入試」と呼ばれていた入試です。自己推薦に近い形の入試ですが、今年度から何らかの形で必ず学力検査を課すようになりました。

3 学校推薦型

従来「推薦」と呼ばれてきた入試です。高校入試の「推薦」とは全く違います。

(1) 一般公募型

国公立大学、私立大学どちらにもあります。

(2) 指定校型

国公立大学には無く、私立大学にしかありません。

【注意】

(1) 総合型選抜について

盛岡三高は、そもそも学力試験を課す一般選抜を中心に指導していますので、あらためて「対策」は必要ありません。高校生活を充実させ、その中で何かの「適性」に自信を深めた場合、チャレンジしてほしいと思います。

(2) 学校推薦型について

「学校推薦」は、高校生活を充実させてきた、盛岡三高の模範たるべき生徒に、3年生のある日、「高校側から」「結果的に」声がかかるものです。「自己推薦型」ではなく「学校推薦」であるからです。

大学の先生方との懇談においては、「学科への適性が高い生徒を送ってほしい」「主体的な学生を推薦でとりたい」「推薦合格を目標として、うわべの『主体的な高校生活』を送ってきた者を推薦してほしい」と言われています。また、推薦入試を「楽に合格できるお得な制度」と捉えているためか、入学してから全く勉強しなくなる学生がおり、本末転倒である、とも言われています。

つまり、推薦入試合格者は、大学4年間を模範生として過ごすことが求められているのです。もし学力不振で単位不認定、留年などということになれば、以後盛岡三高からの推薦受験者を合格させることはないのです。指定校推薦については、学校指定を取り消されます。

また、高校としては生徒諸君に「公正な目標設定とは何か」を考えてほしいと思います。極端なたとえば、学年の生徒全員が「東大合格」を目標として設定したとします。東大の定員は約3000人であり、本校の定員は280名です。公正さにおいて、高校1年生から全員が目指しても全く問題はありません。全員が合格する確率はゼロではないからです。

一方、学校選抜型、特に「指定校推薦」は、各高校から1名と、厳しく制限がなされます。従って教員から「指定校推薦を目標として頑張れ」などと目標設定を促すことは、その時点で他の生徒を切り捨てたものになってしまいます。他の生徒と共有できない進路目標は、高校として生徒に示す目標たり